

# 2022年3月期第2四半期決算の概要

2021年11月9日  
東レ株式会社

# 目次

---

I . 2022年3月期第2四半期決算の概要 .....	3
II . 2022年3月期連結業績見通し .....	18
III . 参考資料 .....	22

# **I . 2022年3月期第2四半期決算の概要**

# 2022年3月期第2四半期連結損益概要

億円

	21年3月期 第2四半期 (7~9月)	22年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	21年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上収益	4,584	5,493	+909 (+19.8%)	8,561	10,630	+2,069 (+24.2%)
事業利益	216	341	+125 (+57.7%)	341	702	+361 (+105.8%)
(売上収益事業利益率)	4.7%	6.2%	+1.5 ポイント	4.0%	6.6%	+2.6 ポイント
非経常項目	▲ 256	▲ 10	+246	▲ 286	▲ 12	+274
金融収益及び費用	▲ 28	▲ 3	+26	▲ 23	5	+28
持分法による投資利益	22	74	+52	53	117	+65
税引前利益(▲損失)	▲ 46	403	+448 (-)	84	812	+728 (+862.3%)
親会社の所有者に帰属 する四半期利益(▲損失)	▲ 50	312	+362 (-)	45	609	+565 (-)

為替レート		(21/3 2Q)	(22/3 2Q)	(21/3 2Q累計)	(22/3 2Q累計)
<円/US\$>	期中平均	106.2	110.1	106.9	109.8
	期末	105.8	111.9		
<円/ユーロ>	期中平均	124.1	129.8	121.3	130.9
	期末	124.2	129.9		

# 非經常項目

億円

	21年3月期 第2四半期 (7~9月)	22年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	21年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
固定資産売却益	0	1	+1	1	5	+4
固定資産処分損	▲ 21	▲ 8	+13	▲ 30	▲ 14	+16
減損損失	▲ 235	▲ 3	+232	▲ 257	▲ 3	+254
非經常項目	▲ 256	▲ 10	+246	▲ 286	▲ 12	+274

# 資産・負債・資本、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	21年3月末	21年9月末	増減
資産合計	28,488	28,566	+77
流動資産	11,810	12,132	+322
有形固定資産	9,984	9,806	-178
その他	6,694	6,628	-67
負債合計	15,266	14,642	-623
流動負債	6,814	6,328	-486
非流動負債	8,452	8,314	-138
資本合計	13,223	13,923	+700
自己資本*	12,379	13,054	+676
自己資本比率*	43.5%	45.7%	+2.2ポイント
有利子負債残高	9,739	9,045	-694
D/Eレシオ	0.79	0.69	-0.09

## <フリー・キャッシュ・フローの状況>

	21年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	977	594	-383
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 585	▲ 100	+485
フリー・キャッシュ・フロー	392	494	+102

\* 自己資本＝親会社の所有者に帰属する持分

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

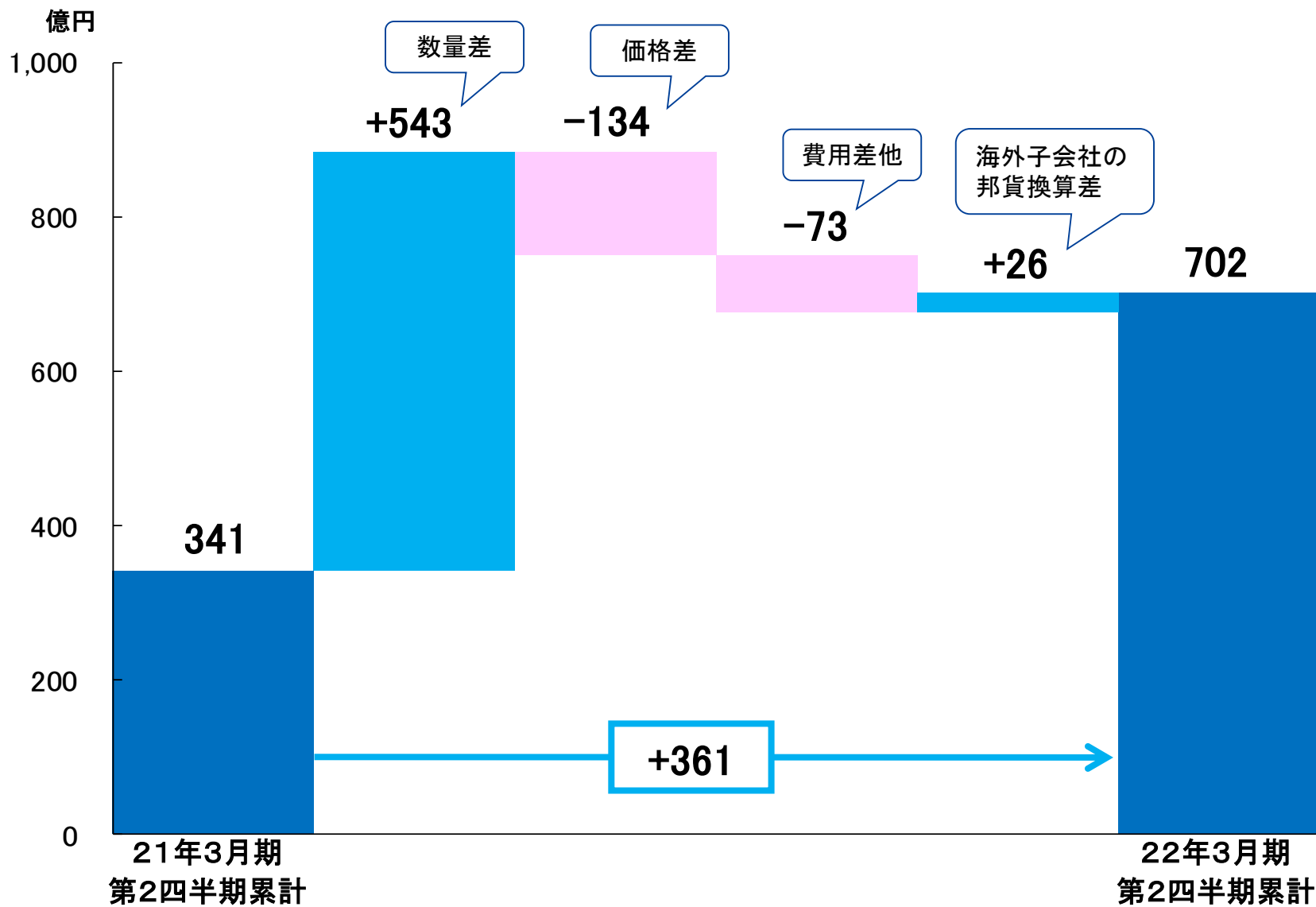
億円

	21年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
設備投資額	650	409	-241
東レ	141	100	-41
連結子会社	509	309	-200
減価償却費	591	611	+20
東レ	193	196	+2
連結子会社	398	416	+18
研究開発費	302	296	-6
東レ	226	219	-7
連結子会社	77	77	+0

## 主な設備投資案件

東レ株式会社	: ポリプロピレンフィルム生産設備
Toray Membrane (Foshan) Co., Ltd.	: RO膜生産設備
Alcantara S.p.A.	: “Alcantara <sup>®</sup> ”生産設備

# 事業利益増減要因分析





# セグメント別売上収益・事業利益

億円

		21年3月期 第2四半期 (7~9月)	22年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	21年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上収益	繊維	1,852	2,174	+321 (+17.3%)	3,302	4,015	+713 (+21.6%)
	機能化成品	1,717	2,219	+502 (+29.2%)	3,273	4,445	+1,172 (+35.8%)
	炭素繊維複合材料	439	504	+65 (+14.8%)	893	989	+96 (+10.8%)
	環境・エンジニアリング	410	422	+11 (+2.8%)	782	859	+77 (+9.8%)
	ライフサイエンス	131	136	+5 (+4.0%)	247	251	+4 (+1.7%)
	その他	34	38	+4 (+11.3%)	63	70	+7 (+11.3%)
	合計	4,584	5,493	+909 (+19.8%)	8,561	10,630	+2,069 (+24.2%)
事業利益	繊維	86	126	+40 (+46.0%)	158	243	+85 (+53.9%)
	機能化成品	160	243	+84 (+52.6%)	241	522	+282 (+117.2%)
	炭素繊維複合材料	▲ 20	▲ 16	+4 (-)	▲ 3	▲ 36	-33 (-)
	環境・エンジニアリング	32	27	-5 (-15.2%)	40	61	+21 (+53.0%)
	ライフサイエンス	8	9	+2 (+22.0%)	8	11	+3 (+34.6%)
	その他	4	5	+1 (+25.2%)	6	7	+2 (+29.7%)
	調整額	▲ 53	▲ 54	-1	▲ 109	▲ 107	+1
	合計	216	341	+125 (+57.7%)	341	702	+361 (+105.8%)

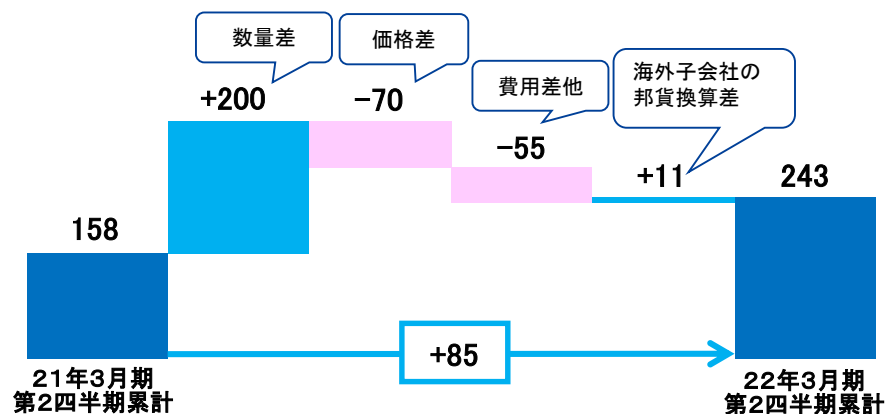
# セグメント別業績(繊維)

億円

		21年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上収益	東レ	675	857	+182 (+26.9%)
	国内	1,854	2,024	+169 (+9.1%)
	海外	1,970	2,683	+713 (+36.2%)
	修正	▲ 1,197	▲ 1,549	-352
	計	3,302	4,015	+713 (+21.6%)
事業利益	東レ	2	61	+59 (-)
	国内	41	53	+12 (+29.9%)
	海外	115	148	+33 (+29.0%)
	修正	1	▲ 18	-19
	計	158	243	+85 (+53.9%)

事業利益増減

億円



## < 概況 >

### ■全般

国内外ともに需要の回復が見られた。

### ■衣料用途

引き続き新型コロナウイルスの影響を受けた用途があるものの、スポーツ・アウトドア用途が好調に推移。

### ■産業用途

自動車関連用途が回復し、数量を伸ばした。

## <トピックス>

・ 21年7月:

集塵用フィルターや建材などに使われるポリエステル長繊維不織布アクスター®について、滋賀事業場での増産を決定。

・ 21年7月:

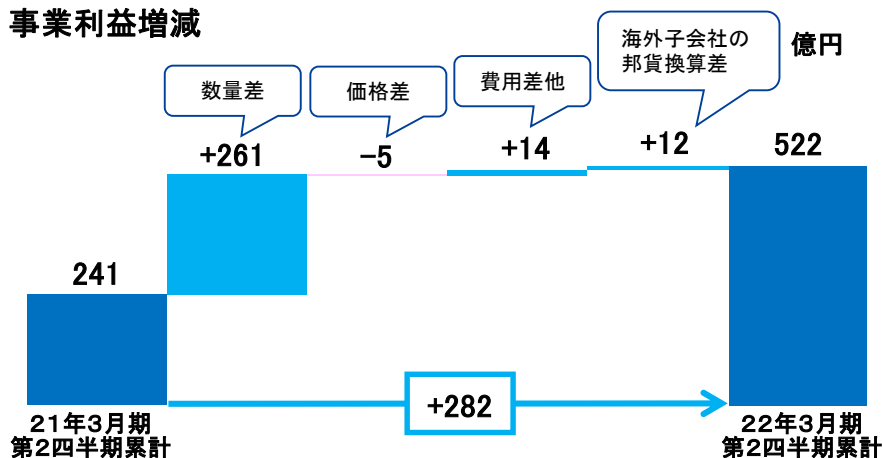
環境負荷物質不使用かつ植物由来成分を原料とした環境配慮型のゴム補強材用新規接着剤を開発。また、東レ・デュポン(株)および東レハイブリッドコード(株)は、その接着技術を確認。東レグループの保有する高機能繊維を用いたゴム補強用繊維製品(コード)のラインナップ拡充を図る。

# セグメント別業績(機能化成品)

億円

		21年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上収益	東レ	979	1,285	+307 (+31.3%)
	国内	1,770	2,365	+595 (+33.6%)
	海外	2,079	3,020	+941 (+45.3%)
	修正	▲ 1,554	▲ 2,226	-672
	計	3,273	4,445	+1,172 (+35.8%)
事業利益	東レ	34	150	+117(+347.8%)
	国内	49	107	+58(+117.9%)
	海外	161	266	+105 (+65.2%)
	修正	▲ 3	▲ 1	+2
	計	241	522	+282(+117.2%)

## 事業利益増減



## < 概況 >

### ■樹脂事業

コロナ禍の反動と自動車メーカーの稼働及び中国経済の回復から、需要が好調に推移。

### ■ケミカル事業

基礎原料の市況が回復した。

### ■フィルム事業

ポリエステルフィルムで光学用途・電子部品関連が好調に推移したほか、リチウムイオン二次電池向けバッテリーセパレータフィルムにおいて車載・民生用途が伸長。

### ■電子情報材料事業

有機EL関連の需要が増加。

## <トピックス>

・ 21年7月:

欧州における樹脂製品のマーケティング及び販売会社であるToray Resins Europe GmbHの技術開発拠点として、樹脂テクニカルセンターを開設。

・ 21年7月:

5G通信および自動運転、ITS向け低誘電損失PBT樹脂を開発。PBT樹脂本来の基本特性を損なうことなく、高周波ミリ波帯における誘電損失を従来比約40%低減。

・ 21年8月:

Toray Plastics (Malaysia) Sdn. Berhadが製造・販売するABS樹脂トヨラック®透明グレードにおいて、年産75,000トンの生産設備の増設を行い、本格生産を開始。

# 機能化成品のサブセグメント別売上収益

億円

	21年3月期 第2四半期累計 (4~9月)		22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
樹脂・ケミカル	1,316	27%	2,089	31%	+59%
フィルム	1,445	30%	1,663	25%	+15%
電子情報材料	322	7%	386	6%	+20%
商事他	1,745	36%	2,533	38%	+45%
修正	▲ 1,554	—	▲ 2,226	—	—
合計	3,273		4,445		+36%

# セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

億円

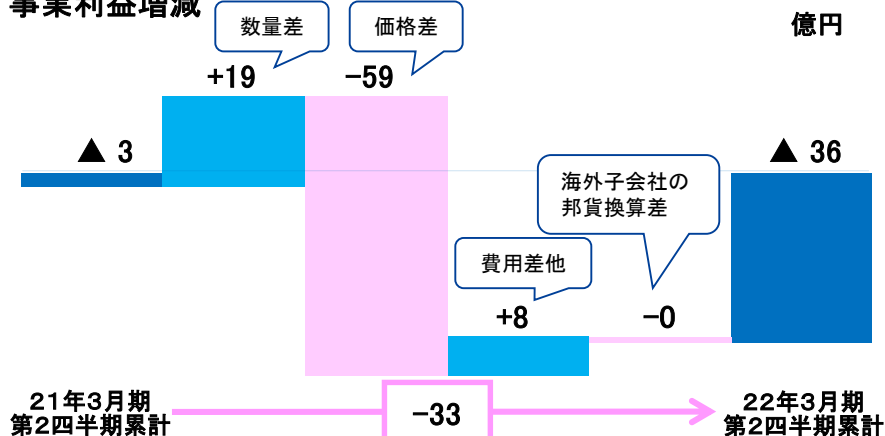
		21年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上収益	東レ	360	325	-35 (-9.7%)
	国内	240	242	+2 (+0.7%)
	海外	708	872	+164 (+23.2%)
	修正	▲ 415	▲ 450	-35
	計	893	989	+96 (+10.8%)
事業利益	東レ	5	▲ 8	-14 (-)
	国内	7	4	-3 (-45.5%)
	海外	▲ 11	▲ 13	-2 (-)
	修正	▲ 4	▲ 19	-15
	計	▲ 3	▲ 36	-33 (-)

## < 概況 >

### ■全般

一般産業用途では、風力発電翼用途やスポーツ用途が好調に推移したが、航空宇宙用途において、民間旅客機のビルドレートが減少した影響を受けた。また、原料価格上昇の影響を受けた。

### 事業利益増減



# 炭素繊維複合材料のサブセグメント別売上収益

億円

	21年3月期 第2四半期累計 (4~9月)		22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
航空宇宙	335	38%	202	20%	-40%
スポーツ	68	8%	122	12%	+79%
一般産業	490	55%	665	67%	+36%
合計	893		989		+11%

# セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

億円

		21年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上収益	東レ	143	161	+18 (+12.9%)
	国内	893	886	-7 (-0.8%)
	海外	181	201	+20 (+11.1%)
	修正	▲ 435	▲ 390	+46
	計	782	859	+77 (+9.8%)
事業利益	東レ	8	5	-4 (-43.5%)
	国内	2	24	+21(+891.2%)
	海外	29	34	+5 (+17.1%)
	修正	0	▲ 1	-2
	計	40	61	+21 (+53.0%)

## < 概況 >

### ■水処理事業

一部地域で新型コロナウイルスの影響があったものの、逆浸透膜などの需要が堅調に推移。

### ■国内子会社

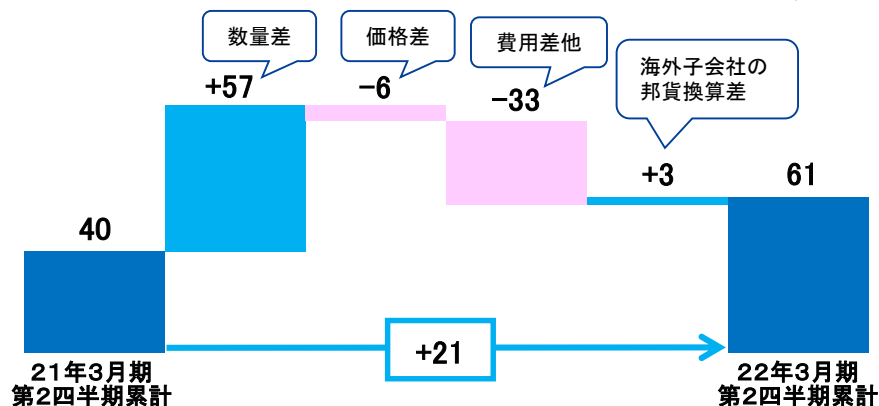
エンジニアリング子会社でエレクトロニクス関連装置の出荷が増加。

## <トピックス>

・ 21年7月：  
東レエンジニアリング(株)の子会社であるTASMIT(株)において、半導体ウェーハ検査装置INSPECTRA®シリーズに検査アルゴリズムにAIを融合した高機能機種が登場。8月から本格販売を開始。

## 事業利益増減

億円



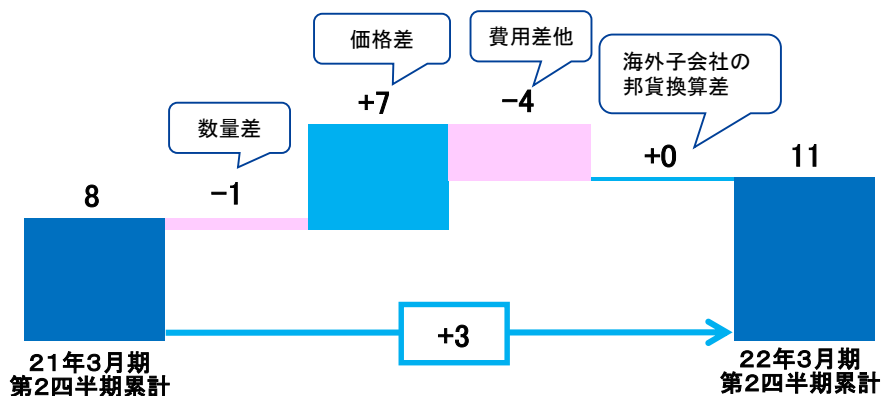
# セグメント別業績(ライフサイエンス)

億円

		21年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上収益	東レ	120	114	-6 (-5.1%)
	国内	197	204	+7 (+3.7%)
	海外	64	60	-4 (-6.3%)
	修正	▲ 135	▲ 127	+7
	計	247	251	+4 (+1.7%)
事業利益	東レ	▲ 4	▲ 3	+1 (-)
	国内	10	12	+2 (+21.0%)
	海外	3	3	+0 (+10.1%)
	修正	▲ 1	▲ 1	-1
	計	8	11	+3 (+34.6%)

事業利益増減

億円



## < 概況 >

### ■医薬事業

経口そう痒症改善薬レミッチ®\*において、後発医薬品発売の影響を受けたほか、薬価改定の影響を受けたが、経口プロスタサイクリン誘導体製剤ドルナー®の海外での販売が伸長。

### ■医療機器事業

血液透析ろ過用のダイアライザーが国内で堅調に拡大。

\*レミッチ®は鳥居薬品(株)の登録商標です。

## <トピックス>

- ・ 21年7月：  
東レ・メディカル(株)が、多用途透析装置において、業務効率化の実現に加え、液晶ディスプレイの大型化による視認性・操作性を向上させた新製品を開発。7月より本格販売を開始。
- ・ 21年7月：  
(株)Veritas In Silicoと、メッセンジャーRNA(mRNA)を標的とする革新的低分子医薬品の創出に向けた共同創薬研究契約を締結。



# 主要子会社・地域の収益状況

億円

	売上収益			事業利益			
	21年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	21年3月期 第2累計四半期 (4~9月)	22年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	
東レインターナショナル	2,338	2,733	+395	51	59	+8	
東レエンジニアリング	376	410	+34	▲ 7	11	+17	
東レ建設	152	167	+15	3	2	-1	
東レフィルム加工	178	189	+11	18	18	+0	
在東南アジア・子会社	繊維	423	615	+192	▲ 19	11	+30
	機能化成品	358	634	+276	56	126	+70
	その他	1	3	+2	0	0	+0
	計	782	1,252	+470	37	137	+100
在中国・子会社	繊維	962	1,245	+283	99	106	+7
	機能化成品	401	598	+197	20	34	+14
	その他	179	195	+16	17	18	+1
	計	1,542	2,038	+496	135	157	+22
在韩国・子会社	繊維	376	467	+92	51	26	-26
	機能化成品	683	774	+91	103	101	-2
	その他	101	157	+55	16	19	+3
	計	1,160	1,398	+238	170	146	-24

## **Ⅱ. 2022年3月期連結業績見通し**

# 2022年3月期連結業績見通し

## 業績見通しの前提

内外経済は、新型コロナウイルスのワクチン普及や経済対策の進展を背景に回復を続けると見ているが、変異株の感染再拡大のリスクや、原燃料価格の高騰、半導体不足や供給網制約による自動車の減産等が懸念材料となっており、先行きは不透明感が増している。

億円

		21年3月期 実績	22年3月期 見通し	増減	8/4公表値	8/4公表値 との差異
売上収益	上期	8,561	10,630	+2,069 (+24.2%)	10,650	-20
	下期	10,275	11,570	+1,295 (+12.6%)	11,850	-280
	通期	18,836	22,200	+3,364 (+17.9%)	22,500	-300
事業利益	上期	341	702	+361 (+105.8%)	600	+102
	下期	562	598	+37 (+6.5%)	700	-102
	通期	903	1,300	+397 (+44.0%)	1,300	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	上期	45	609	+565 (—)	450	+159
	下期	413	321	-93 (-22.4%)	450	-129
	通期	458	930	+472 (+103.1%)	900	+30
基本的1株当たり 当期利益	上期	2.79円	38.06円	為替レート的前提 (10月以降) 110円/US\$		
	下期	25.82円	20.04円			
	通期	28.61円	58.10円			
1株当たり配当金	上期	4.50円	8.00円			
	下期	4.50円	8.00円			
	通期	9.00円	16.00円			
配当性向	通期	31%	28%			

# セグメント別連結業績見通し

億円

		21年3月期実績			22年3月期見通し			増減			8/4公表値との差異		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	繊維	3,302	3,890	7,192	4,015	4,405	8,420	+713	+515	+1,228	+15	-245	-230
	機能化成品	3,273	3,931	7,204	4,445	4,455	8,900	+1,172	+524	+1,696	+45	-95	-50
	炭素繊維複合材料	893	936	1,829	989	1,141	2,130	+96	+205	+301	-11	+11	—
	環境・エンジニアリング	782	1,153	1,935	859	1,221	2,080	+77	+68	+145	-71	+71	—
	ライフサイエンス	247	283	530	251	269	520	+4	-14	-10	+1	-21	-20
	その他	63	82	146	70	80	150	+7	-3	+4	+0	-0	—
	合計	8,561	10,275	18,836	10,630	11,570	22,200	+2,069	+1,295	+3,364	-20	-280	-300
事業利益	繊維	158	208	366	243	247	490	+85	+39	+124	+3	-53	-50
	機能化成品	241	429	670	522	368	890	+282	-62	+220	+42	-12	+30
	炭素繊維複合材料	▲ 3	▲ 72	▲ 75	▲ 36	16	▲ 20	-33	+88	+55	+14	-4	+10
	環境・エンジニアリング	40	106	145	61	109	170	+21	+4	+25	+11	-11	—
	ライフサイエンス	8	5	13	11	▲ 1	10	+3	-6	-3	+11	-1	+10
	その他	6	24	29	7	13	20	+2	-11	-9	+2	-2	—
	調整額	▲ 109	▲ 137	▲ 246	▲ 107	▲ 153	▲ 260	+1	-16	-14	+18	-18	—
	合計	341	562	903	702	598	1,300	+361	+37	+397	+102	-102	—

# セグメント別事業利益の8月4日公表値との差異

セグメント	通期事業利益(億円) 8/4公表値→今回見直し ( )内差異	増減益要因
繊維	540→490 (-50)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣料用途は、アウトドア・スポーツウェア用途等の需要は堅調も、秋冬衣料品の立ち上がり遅れの影響を受ける見直し。</li> <li>・産業用途は、エアバッグ用基布等の自動車関連用途が半導体不足による自動車減産の影響を受ける見直し。</li> <li>・原燃料価格および物流費高騰の影響を受ける見込み。</li> </ul>
機能化成品	860→890 (+30)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹脂事業では、半導体不足による自動車減産の影響は受ける見込みも、ABS樹脂は、スプレッドが前回見直しよりも堅調に推移する見込み。</li> <li>・ケミカル事業では、基礎原料の市況やファインケミカル製品の販売が堅調に推移する見込み。</li> </ul>
炭素繊維 複合材料	▲30→▲20 (+10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト削減に加え、一般産業・スポーツ用途での拡販を推進。</li> </ul>
環境・ エンジニアリング	170→170 (±0)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回見直し通り。</li> </ul>
ライフサイエンス	0→10 (+10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業費の削減を見込む。</li> </ul>
その他	20→20 (±0)	
調整額	▲260→▲260 (±0)	
合計	1,300→1,300 (±0)	

## III. 參考資料

# セグメント別四半期売上収益推移

億円

	21年3月期					22年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
繊維	1,450	1,852	2,061	1,829	7,192	1,842	2,174
機能化成品	1,556	1,717	1,926	2,005	7,204	2,226	2,219
炭素繊維複合材料	454	439	456	479	1,829	485	504
環境・エンジニアリング	372	410	464	689	1,935	437	422
ライフサイエンス	116	131	137	146	530	115	136
その他	29	34	37	45	146	32	38
合計	3,976	4,584	5,081	5,194	18,836	5,137	5,493

# セグメント別四半期事業利益推移

億円

	21年3月期					22年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
繊維	72	86	122	86	366	118	126
機能化成品	81	160	236	193	670	279	243
炭素繊維複合材料	17	▲ 20	▲ 34	▲ 38	▲ 75	▲ 21	▲ 16
環境・エンジニアリング	8	32	40	65	145	34	27
ライフサイエンス	1	8	9	▲ 5	13	2	9
その他	1	4	12	12	29	2	5
調整額	▲ 55	▲ 53	▲ 56	▲ 81	▲ 246	▲ 53	▲ 54
合計	125	216	329	233	903	361	341



# 機能化成品サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	21年3月期					22年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
樹脂・ケミカル	597	719	872	904	3,092	1,045	1,044
フィルム	694	751	785	801	3,031	832	831
電子情報材料	146	176	176	180	678	193	192
商事他	877	868	1,045	1,103	3,893	1,286	1,247
修正	▲ 757	▲ 797	▲ 952	▲ 983	▲ 3,489	▲ 1,131	▲ 1,095
合計	1,556	1,717	1,926	2,005	7,204	2,226	2,219

# 炭素繊維複合材料サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	21年3月期					22年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
航空宇宙	174	161	148	116	600	95	106
スポーツ	32	37	41	46	155	61	62
一般産業	249	241	267	317	1,074	329	336
合計	454	439	456	479	1,829	485	504

# 主要子会社・地域の四半期売上収益推移

億円

	21年3月期					22年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	
東レインターナショナル	1,111	1,227	1,413	1,244	4,995	1,292	1,441	
東レエンジニアリング	175	201	244	417	1,037	223	187	
東レ建設	55	97	131	118	400	73	94	
東レフィルム加工	93	85	92	89	359	93	95	
在東南アジア・ 子会社	繊維	187	236	275	302	1,000	299	316
	機能化成品	154	205	246	268	872	322	312
	その他	0	0	0	0	1	2	1
	計	341	441	522	570	1,874	623	629
在中国・ 子会社	繊維	401	561	611	411	1,984	556	689
	機能化成品	189	212	251	249	901	294	304
	その他	90	89	98	77	354	99	95
	計	680	862	961	737	3,239	949	1,088
在韩国・ 子会社	繊維	182	194	199	222	796	231	236
	機能化成品	312	371	398	393	1,474	395	379
	その他	50	52	59	67	227	80	77
	計	543	617	656	681	2,497	706	692

# 主要子会社・地域の四半期事業利益推移

億円

	21年3月期					22年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	
東レインターナショナル	19	33	33	25	109	27	33	
東レエンジニアリング	▲ 6	▲ 0	13	35	41	11	0	
東レ建設	▲ 4	7	7	1	11	▲ 1	3	
東レフィルム加工	8	10	11	12	41	10	8	
在東南アジア・ 子会社	繊維	▲ 12	▲ 7	▲ 7	4	▲ 23	3	8
	機能化成品	14	42	63	64	183	73	53
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	計	2	35	56	67	160	76	61
在中国・ 子会社	繊維	49	50	45	24	168	48	57
	機能化成品	10	10	15	15	50	16	18
	その他	8	8	9	5	31	8	9
	計	67	68	69	45	249	72	85
在韩国・ 子会社	繊維	28	24	16	1	68	16	9
	機能化成品	45	58	56	37	195	54	47
	その他	8	7	6	7	29	9	10
	計	81	89	77	45	292	79	66

# ESGに関する社外からの評価

■ MSCI  
2021年9月



■ S&P Global Sustainability  
Yearbook Member

2021年2月  
Sustainability Yearbook  
Member 2021  
S&P Global

■ CDP  
2020年12月



Water Security: A  
Climate Change: B

## ■ 海外主要インデックスの構成銘柄に選定



2021年9月  
「MSCI ESG Leaders Indexes」



FTSE4Good

2021年6月  
「FTSE4Good Index Series」

MEMBER OF  
Dow Jones  
Sustainability Indices

In Collaboration with RobecoSAM

2020年11月  
「Dow Jones Sustainability  
Index(DJSI)」のAsia Pacific

## ■ GPIFが採用するESG指数の構成銘柄に選定



FTSE Blossom  
Japan

2021 CONSTITUENT MSCIジャパン  
ESGセレクト・リーダーズ指数

---

**本資料中の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。**

**本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。**

**'TORAY'**

**Innovation by Chemistry**

